

子どもと向き合う5つのポイント

手をとめて話を聞こう

○子どもの顔を見ながら話を聞こう！

子どもが求めているのは「家族のみんなが楽しく過ごす」こと。夫婦、親子の間での会話を増やし、家族の絆を深めることで子どもの心に安心感が生まれます。



○家族一緒に食事をしよう！

日々の会話を増やすために、できるだけ一緒に食事をし、その日にあったことを話し合い、家族のコミュニケーションを楽しみましょう。

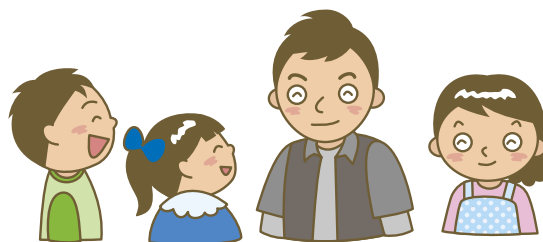
○家族の一員としてお手伝いをさせよう！

子どもに、家族の一員として家事などの役割を与えることは、責任感を養うと同時に、家族との精神的なつながりを強めます。

しっかりほめて叱ろう

○良いことはほめる、悪いことは叱る！

「自分の子だけ良ければいい」という考え方（自主義）はやめ、間違っことは愛情を持って本気で叱り、良いことはしっかりほめましょう。



○家庭のルールを話し合おう！

家庭のルールは、社会のルール。子どもが社会に出てから恥ずかしい思いをしないためにも、家庭のルールをしっかり話し合い、子どもとともにルールを守りましょう。

○子どもの手本となる親になりましょう！

子どもにルールやマナーを教えるのは、まず親が尊敬される存在でなければなりません。普段の自らの行いを振り返り、子どもに信頼される親になりましょう。

早寝早起きでリズムを作ろう

○早寝 早起き 朝ごはん！

早起きし、朝食をとることで、身体にエネルギーを補給し、集中力ややる気を発揮させ、一日の身体リズムを整えることができます。



○昼間は外遊びをしっかりと！

遊びは子どもの成長にとっても大切。感覚や運動能力、想像力などを養います。様々な外遊びを通して、身体を動かす楽しさを伝えましょう。

○テレビやゲームは時間を決めて！

テレビやゲームにのめり込みすぎると、外での遊びや自然体験など、子どもにとって大切な体験機会を逃してしまいます。親子で話し合い、家庭のルールを決めましょう。

親子で読書を楽しもう

○親子で本とふれあう時間を作ろう！

親のぬくもりを感じながら優れた本に接し、一緒に共感しあうことで子どもの感性が豊かに育めます。食事の時間のように「本の時間」を設けるなどしましょう。



○本は子どもの心を成長させる！

読書は、想像力や考える習慣を身につけ、豊かな感性や情操、思いやりの心を育むことができます。また良い本との出会いは一生を通して心に栄養を与えます。

○親子で「学んだこと」を家庭の話題に！

読書を通じて子どもが感じ、考えたことに耳を傾け、話し合うなど、親子の会話を深める契機として読書を活用することも大切です。

様々な体験をさせよう

○自然の中は、学びがたくさん！

自然の中での感動体験や達成感は、心の幅を広げ探求心を育てます。家族で山や海に出かけたり、時には地域の体験活動に子どもだけで参加させましょう。

○様々な年代の子どもとふれあおう！

年の違う集団の中で、子どもたちは人間関係についてたくさんを学びます。ルールを守ることや我慢、思いやりの心や責任感を養うことができます。



○地域の行事に参加してみよう！

地域の伝統行事や公民館行事などに参加し、地域の大人とふれあうことを通して、豊かな心やふるさとを愛する心が育めます。

